

鹿野地域の学校のあり方について
(答申)

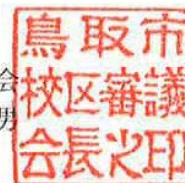
平成27年11月26日

鳥取市校区審議会

平成27年11月26日

鳥取市教育委員会
教育長 木下 法広 様

鳥取市校区審議会
会長 渡部 昭男



鹿野地域の学校のあり方について（答申）

鳥取市校区審議会（第12期）は、平成25年11月27日に第1回の審議会を開催して以降、諮問事項である「鳥取市立小・中学校の学校配置及び校区の設定について」に関する審議を進めてきた。

この審議の過程において、平成27年9月24日に「鹿野地域の教育を考える会」より要望書が提出されたことを受けて、現地での視察や意見交換等を行いながら慎重に審議を重ねた結果、鹿野地域の学校のあり方について次のとおり答申する。

記

1. 鹿野地域に、新たな小中一貫校（義務教育学校または小中一貫型小学校・中学校（仮称））を設置する。

[付記]

- (1) 鹿野小学校、鹿野中学校を統合して、新たな小中一貫校を設置する。
- (2) 一貫校の設置は、慎重に検討した上で適切な時期に実施する。
- (3) 「鳥取市版コミュニティ・スクール（地域創造学校）」の指定を行う。
- (4) 「小規模校転入制度」を導入する。
- (5) 教育情報環境の整備を進める。
- (6) 地域振興にも留意する。

(説明)

- (1) 第11期校区審議会は平成25年10月23日付け答申「西部地域の中学校のあり方について」において、気高中学校と青谷中学校の校舎を現在地で改築する方向性を明らかにした。残る鹿野中学校に関しては、第12期校区審議会の平成27年4月6日付け「中間まとめ」において、「早急な議論が必要な学校区」として、「鹿野中学校エリア（鹿野小学校を含む）」の小規模化に伴う懸念を指摘したところで

ある。鹿野地域では、小学校と中学校が700mの距離をもって存立していること、また以前からこじか園を含めた幼小中が連携した教育活動が進められてきていた。それらのことをふまえ、幼稚園等との連携を維持しながら9年間を見通した小中一貫校とし、地域が求める学校づくりを推進する。

- (2) 開設時期、施設の活用の仕方、教育課程の編成内容（「仮称・表鷲科」構想を含む）等、小中一貫校の具体的な姿については、今後、鳥取市教育委員会と「鹿野地域の教育を考える会」「地域振興会議」など地域住民がすみやかに協議を進めることが必要である。なお、城跡にある鹿野中学校は築40年を経過しており、また中学生の人数が平成39年度には60名に減少する予測であることから、当面は施設分離型で開設しても、教育の実をあげるために施設一体型に切り替える必要がある。
- (3) 鹿野地域では、将来の学校のあり方について検討する「鹿野地域の教育を考える会」を立ち上げるなど、教育への関心が高く、学校への協力も熱心に行われてきた。「鳥取市版コミュニティ・スクール」の指定を行い、学校運営協議会が学校運営に携わることで、学校と地域が一体となることがさらに進み、より魅力ある学校づくりが推進できる。
- (4) 鹿野中学校ですでに導入されている小規模校転入制度を小学校段階にも拡充することで、校区外からの児童生徒の転入が見込まれ、児童生徒の交友関係の広がりや部活動の選択肢が広がるなどの効果が得られる。
- (5) 教育情報環境を整備することで、とりわけ中学校の生徒にあっては、他校の中学生とインターネットを通じて交流でき、視野を広げることができる。
- (6) 地域振興に関して、「新市域振興ビジョン」を踏まえて留意する必要がある。地域づくり・地域創生と学校教育のあり方について、鳥の劇場、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会などの関係機関、関係者と連絡を密にして協議を進めることも必要である。なお、鹿野小中一貫校を存続させるためには、人口減少を食い止める対策が必要となる。

【資料一覧】

- 鹿野地域の学校のあり方について（要望書）・・・・・・・・・・資料1
- 「鹿野地域の教育を考える会」要望書補足資料・・・・・・・・・・資料2
- 鹿野小・中学校位置図・・・・・・・・・・資料3
- 鹿野小学校施設配置図・・・・・・・・・・資料4
- 鹿野中学校施設配置図・・・・・・・・・・資料5
- 鹿野小・中学校の児童・生徒数予測・・・・・・・・・・資料6

【付 記】 詳細は第12期校区審議会議事録を参照のこと。

(<http://www.city.tottori.lg.jp/www/genre/0000000000000/1440741886657/index.html>)

平成27年9月24日

鳥取市長 深澤 義彦 様

鹿野地域の教育を考える会

会長 廣田 敬祐



鹿野地域の学校のあり方について(要望)

鹿野地域においては、当地域における今後の学校のあり方を総括的に検討するため、平成26年5月地域住民団体や学校教育・保育関係者等25名で構成する「鹿野地域の教育を考える会」を設立しました。

この会の最初の取り組みとして、中学生以上の全住民を対象にしたアンケート調査を実施し、その結果「鹿野に中学校を残してほしい」という回答が73.1%に達しました。

この結果をもとに、研究・議論を重ね、教育を考える会でまとめあげた「鹿野地域の学校のあり方」について、住民説明会を開催しました。

このような経過を踏まえ、このたび、鹿野地域住民の総意として地域における望ましい学校のあり方をまとめましたので、当地域がめざす教育目標の実現に向け、よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

平成27年9月24日

鳥取市教育委員会

教育長 木下法広様

鹿野地域の教育を考える会

会長 廣田 敬祐 

鹿野地域の学校のあり方について(要望)

鹿野地域においては、当地域における今後の学校のあり方を総括的に検討するため、平成26年5月地域住民団体や学校教育・保育関係者等25名で構成する「鹿野地域の教育を考える会」を設立しました。

この会の最初の取り組みとして、中学生以上の全住民を対象にしたアンケート調査を実施し、その結果「鹿野に中学校を残してほしい」という回答が73.1%に達しました。

この結果をもとに、研究・議論を重ね、教育を考える会でまとめあげた「鹿野地域の学校のあり方」について、住民説明会を開催しました。

このような経過を踏まえ、このたび、鹿野地域住民の総意として地域における望ましい学校のあり方をまとめましたので、当地域がめざす教育目標の実現に向け、よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

I 鹿野地域のめざす教育の目標

『ふるさとを誇り 世界で活躍する人づくり』

『ふるさとを守り 地域をささえる人づくり』

地域の誇り・先人の思いを未来に確実に伝えたいと願っています。様々な人や地域との交流を通じて世界へとはばたいていく人材、一層輝く地域づくりを推進するため、地域を支えていく志や力を持ち、豊かな人間性を備えた人材を、地域全体で大切に育んでいきます。

II 望ましい学校の形態

鹿野小学校及び鹿野中学校それぞれの歴史・立地等の環境を最大限活用しながら、9年間を通したカリキュラムにより、地域の教育目標を着実に達成するため「小中一貫校(校舎分離型)」の設置をお願いします。

鹿野地域には、地域住民が寄附・労力奉仕するなどして整備した「鹿野中学校」、自然環境・歴史環境・地域との関わりを重視し、エコスクールとして整備した「鹿野小学校」、さらに、幼児教育の重要性に鑑み、県内で初めて公立幼稚園を開設し、現在、本市唯一の3年制公立幼稚園である「こじか園」があります。

いずれも、地域ぐるみで子どもたちを育み、子ども・学校と共に成長する地域づくりを推進してきた証にほかなりません。

小中一貫校となることで、鹿野地域の教育の伝統と教育に注ぐ地域住民の熱い思いを、未来に確実に引き継ぎ一層の発展に繋がるものと考えています。

〈地域性豊かな特色ある教育を実施するための取り組み〉

(1) 「表鷲(あらわし)科」など地域独自の教科の導入

※表鷲科・・・自らの志を語ることができる子ども、地域の一員とし

て地域に関わることができる子どもを育てていくため、川柳や演劇、英語などを総合的に学び、表現力やコミュニケーション力、協働する力などを養う教科。また、10歳時の「2分の1成人式」や15歳時の「表鷲の巣立ち式」を通して、自らの将来にわたる「かくありたしの像」（こんな生き方をしたいと思う人生のモデル）を披れきするなど、自らの生き方の土台を築き上げる教科である。

- (2) 小中教員の連携体制の強化と小学校への一部教科担任制等の導入
- (3) 校舎間や他校、企業等と連携した交流学习の実施と、そのために必要な情報系設備の整備
- (4) 小規模校転入制度の早期導入

Ⅲ 地域のかかわり

鹿野地域では、地域ぐるみで子どもたちを大切に育んできた永い歴史と伝統があります。地域とともにある学校づくりを一層推進するため、「鹿野地域学校応援団(仮称)」を組織し、地域の資源・人材を活用した授業支援や児童生徒の地域活動への参画促進など、子どもと学校・地域の健全な成長を支えます。

- (1) 地域ぐるみ教育並びに子どもと一緒に成長する地域づくりを一層推進するため、コミュニティ・スクールの導入をお願いします。
- (2) 学校と地域住民の連携・協働を深めるため、鹿野中学校に地域開放拠点空間の整備をお願いします。

「鹿野地域の教育を考える会」要望書
補足資料

I 鹿野地域のめざす教育の目標

小さな御朱印船で外洋に漕ぎ出す勇気、地域の人を慈しみ地域資源を活かし、ふるさとを磨き上げてきた智恵と気概等々

地域の誇り・先人の思いを未来に確実に伝える

様々な人や地域との交流を通じて
一層輝く地域づくりを推進する

ふるさとを誇り 世界で活躍する人づくり
地域を支えていく**志や力**をもち、**豊かな人間性**を備えた人材を、地域全体で大切に育ていく
ふるさとを守り 地域をささえる人づくり

I 鹿野地域のめざす教育の目標

検討・議論で注目した【アンケート結果①】

◆鹿野の学校教育に期待するもの

1位	学力向上	54.3%
2位	道徳教育など豊かな心の育成	52.1%
3位	体力向上	36.3%
4位	地域行事や地域活動への参加	30.7%
5位	地域住民とのふれあい	29.1%
6位	部活動	20.5%
7位	将来の職業進路指導	18.0%

将来の学校の在り方に関するアンケート (回収率67.9% 配布数2,712)

★ 自らの志を語るができる子ども

表現力 ・ 道徳力

○自分から進んで学び、自分の考えや志を豊かに表現し行動する力を持つ。

★ 地域の一員として地域に関わることができる子ども

協働する力・つながる力

○鹿野への誇りを持ち、地域と共に地域の文化・伝統を育んでいく力を持つ。

II 望ましい学校の形態 「良い点は伸ばす」

検討・議論で注目した【アンケート結果②】

◆ 鹿野の学校教育の良いと思われるもの

1位	落ち着いて学習できる環境	49.8%
2位	地域と学校との関係	40.7%
3位	こじか園、小中学校間の交流	31.1%
4位	学習面でのきめ細やかな指導	27.2%
5位	地域の特性を活かした学習	26.9%
6位	生活面でのきめ細やかな指導	15.0%
7位	家庭的雰囲気ですぐ孤立しない	14.1%

将来の学校の在り方に関するアンケート (回収率67.9% 配布数2,712)

Ⅱ 望ましい学校の形態 「意見の傾向」

検討・議論で注目した【アンケート結果③】

◆将来の鹿野中学校はどうあるべきと思いますか

1位	鹿野地域に残すべき	73.1%
2位	廃止して近隣の中学校に統合すべき	10.7%
----	わからない・無回答	16.1%

◆「鹿野地域に残すべき」を選ばれた方へ。 現在のあなたのお考えは？

1位	小中一貫校とする	56.5%
2位	現状のまま単独校とする	43.5%

将来の学校の在り方に関するアンケート (回収率67.9% 配布数2,712)

Ⅱ 望ましい学校の形態

優れた教育環境を最大限活用して

- ◆ 保育園と幼稚園連携施設 こじか園
- ◆ エコスクール 鹿野小学校
- ◆ 歴史・自然環境に恵まれた 鹿野中学校
- ◆ 15年間を見通した 保幼小中の連携体制

鹿野地域の教育目標
達成をめざす

小中一貫校【校舎分離型】の導入

Ⅱ 望ましい学校の形態 「小中一貫校」

【校舎一体型】と【校舎分離型】

項目	小中一貫校【校舎一体型】	小中一貫校【校舎分離型】
教育面	◎小中9年間を通じた独自のカリキュラムを編成することができる	
	◎一人の校長のもと小中の教職員が一体となって小中9年間通じた教育を行う	
	◎地域の特色を活かした魅力ある教育が行われる学校として、児童・生徒数の増加が期待される	
	○教員の移動が容易(校舎内)	▲教員の校舎間移動が不便
施設面	▲通常小学校舎を活用して設置 9年間同じ環境(施設)	○現在の小中それぞれの校舎を活用して設置
	○1施設であり、将来的に維持・改修が効率的	▲2施設であり、将来的に維持・改修費が大きい
設置例	湖南学園、福部未来学園	鹿野町がめざす

共に、児童・生徒数の増加効果が見られない場合は、小規模に係る課題は解決しない

Ⅱ 望ましい学校の形態

小中一貫校【校舎分離型】により期待される効果①

- ★現在の教育環境(校舎、立地環境等)を引き続き活用できる。
- ★9年間を通じた独自のカリキュラムを組むなど、地域の教育目標に沿った取り組みを推進できる。

【鹿野地域独自の教科】 表鷲科(仮)

表現力やコミュニケーション力などを養うため、英語や川柳、演劇などを総合的に学ぶ。
また、「1/2成人式」や「表鷲の巣立ち式」を行うことで将来の自己像の確立を図る。

★幼3年間への適用も視野に入れることで「力」の一層の定着も期待される

- ★小中教員が一体となって教育・運営にあたるため、教科担任制やTT授業等の小学校への導入が可能。
- ★小学生は先輩(中学生)の姿を見て学び、中学生は上級生としての自覚が深まる。

Ⅱ 望ましい学校の形態 「小規模校の課題」

検討・議論で注目した【アンケート結果④】

現在の鹿野の学校教育で課題と思うものは？

1位	部活動の選択肢が少ない	44.9%
2位	競争する機会が少ない	36.3%
3位	人間関係が固定化され序列がしやすい	34.7%
4位	クラス替えがない	32.0%
4位	行事やグループ活動に支障がある	32.0%
5位	通学時に不安がある	15.6%
6位	学習面で多様な意見が出にくい	14.6%

将来の学校の在り方に関するアンケート (回収率67.9% 配布数2,712)

Ⅱ 望ましい学校の形態

小中一貫校【校舎分離型】により期待される効果②

★様々な授業形態や学校行事を工夫して実施しやすくなり、「人間関係の固定化」等小規模に伴う課題に柔軟に対応できる。

ICTを活用した、他校との連携授業
小中合同授業や縦割り班活動等、積極的な異学年交流
小中校舎や立地環境などを活用した多彩な行事



★地域性豊かな特色と魅力ある学校として、児童・生徒数の増加が期待される。

Ⅲ 私たち地域のかかわり

「あなたにとって学校って何ですか？」

検討・議論で注目した【アンケート結果⑤】

地域の中で学校はどのような存在ですか？

1位	地域になくてはならないもの	41.2%
2位	地域の人材育成の基礎	20.4%
3位	人と人のつながりの原点	16.5%
4位	昔からあるあたりまえのもの	10.2%
5位	特に意識したことがない	9.6%

Ⅲ 私たち地域のかかわり

「あなたにとって学校って何ですか？」

検討・議論で注目した【アンケート結果⑥】

地域は、学校教育にどうかかわればよいですか？

1位	できる範囲で関わればよい	55.7%
2位	積極的に関わるべき	25.0%
3位	わからない	12.9%
4位	教育委員会や学校にまかせればよい	4.2%



Ⅲ 私たち地域のかかわり

地域ぐるみ教育の伝統を継承・拡大

- ◆ **学校応援団**を組織し、子どもと学校の健全な成長を支える
- ◆ 地域の資源、人材を活用した授業を展開する
- ◆ 児童生徒の地域活動への参画を促し、郷土愛を育む

子どもと一緒に成長する
地域づくりの推進

地域住民の参画のもと
コミュニティスクールとして運営

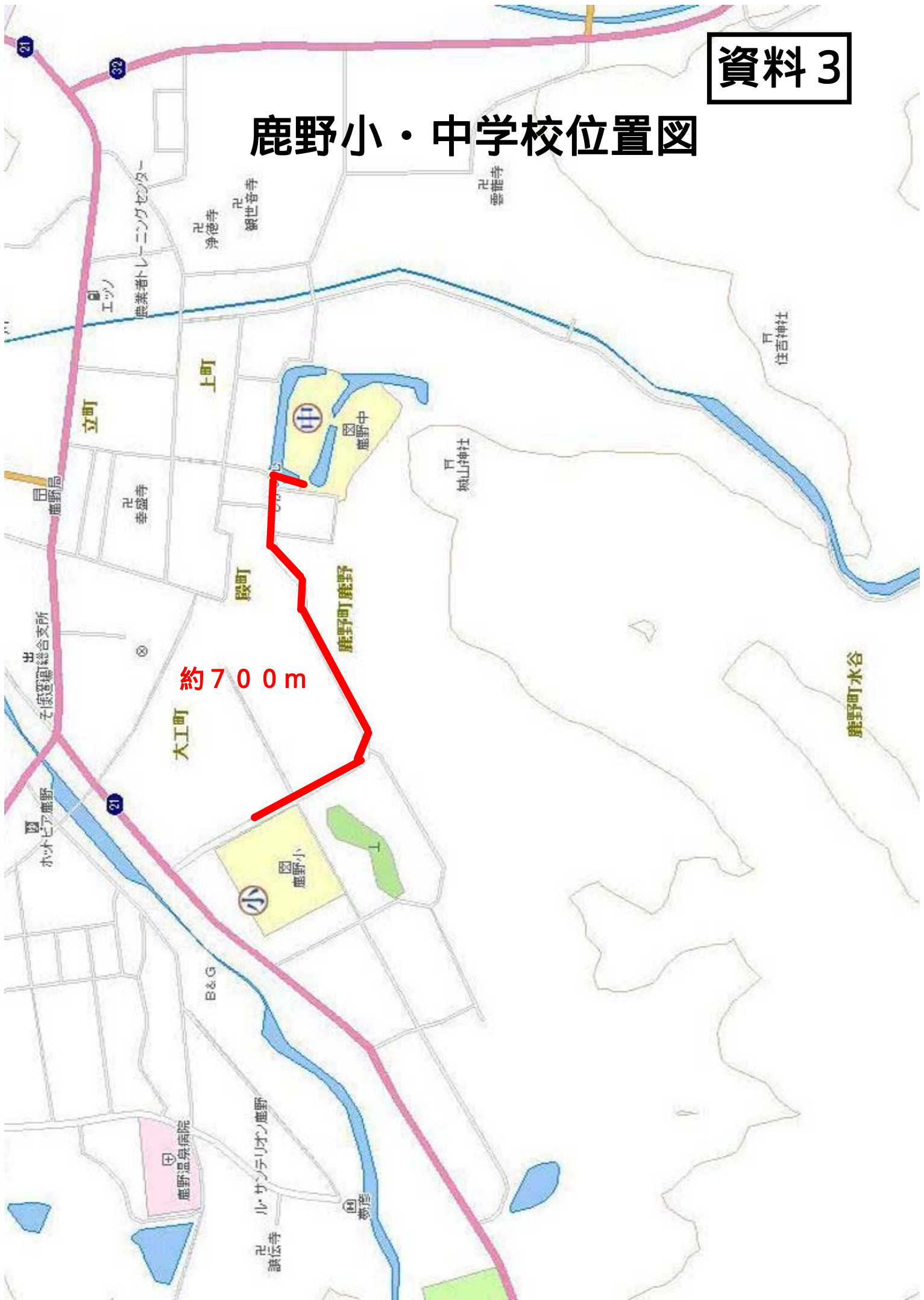
UJIターンの状況

H25～「鳥取市UJI空き家運営業務」受託
地域団体が空き家バンクを運営
“地域が主体となり地域に必要な人材を積極的に誘致”

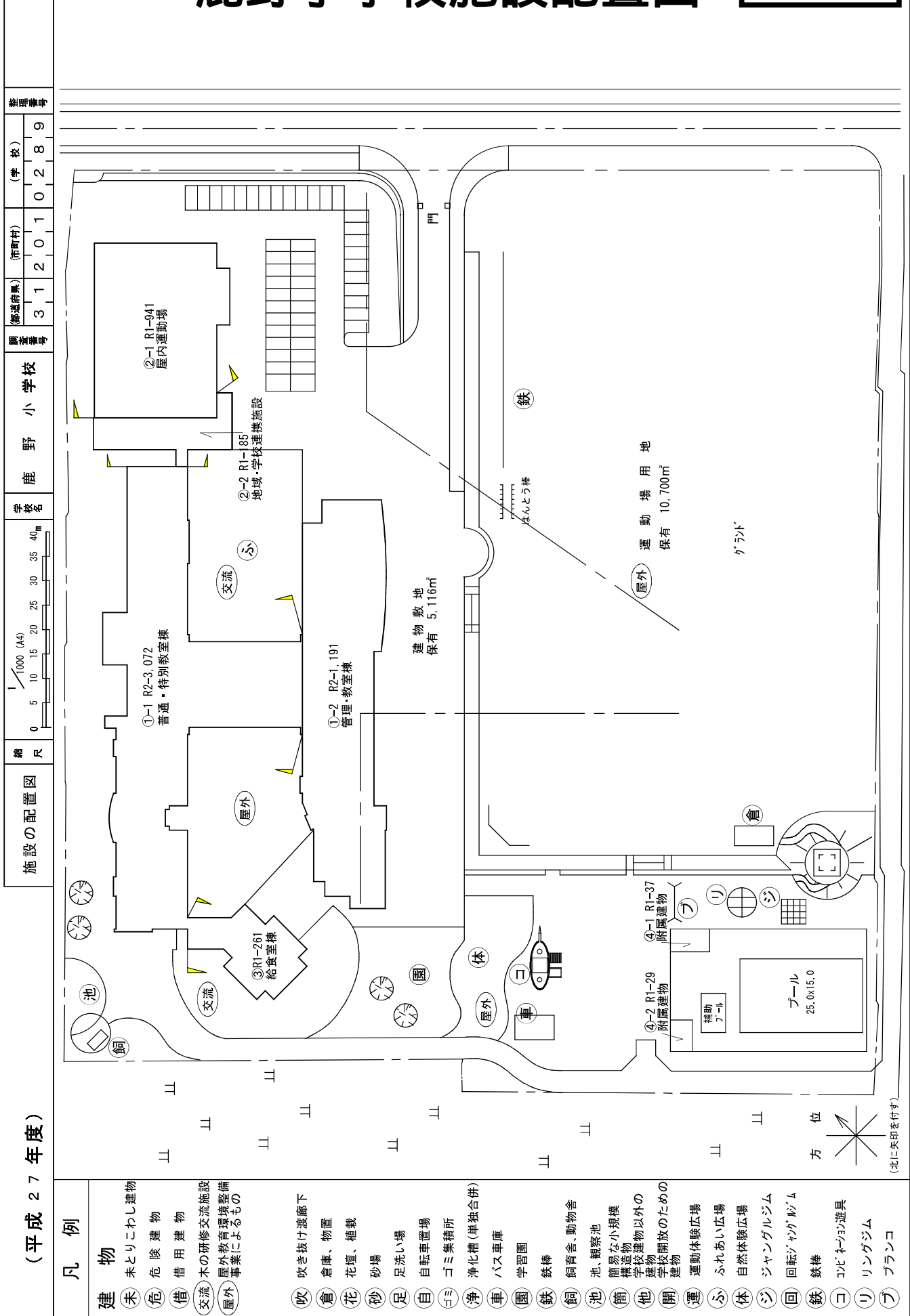


年度	移住件数	移住人口	備考
平成26年度	12件	21人	大部分が30代以下 幼児数 6人(H26)
平成27年度(9月現在)	3件	8人	単身移住後に結婚・妊娠中……2件

鹿野小・中学校位置図



鹿野小学校施設配置図

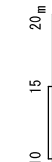


(平成 27 年度)

No. 1

平面図

縮尺



学校名

鹿野小学校

開校番号

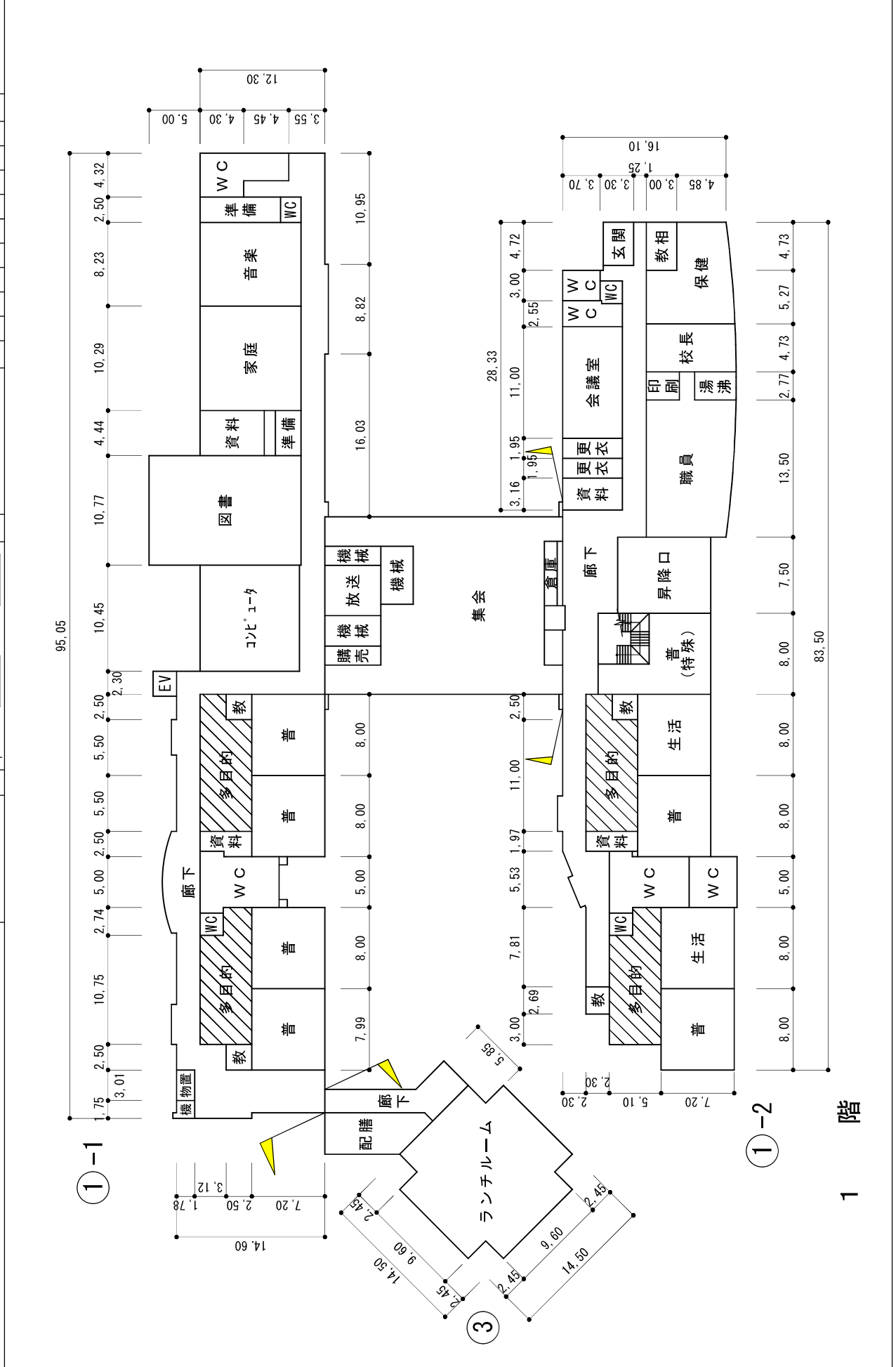
3 1 2 0 1

(市町村)

(学校)

整理番号

2 8 9



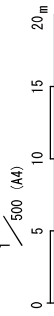
1 階

文部科学省

(平成 27 年度)

No. 2

平面図



学校名

鹿野小学校

開校番号

31

(市町村)

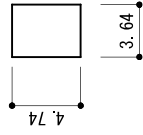
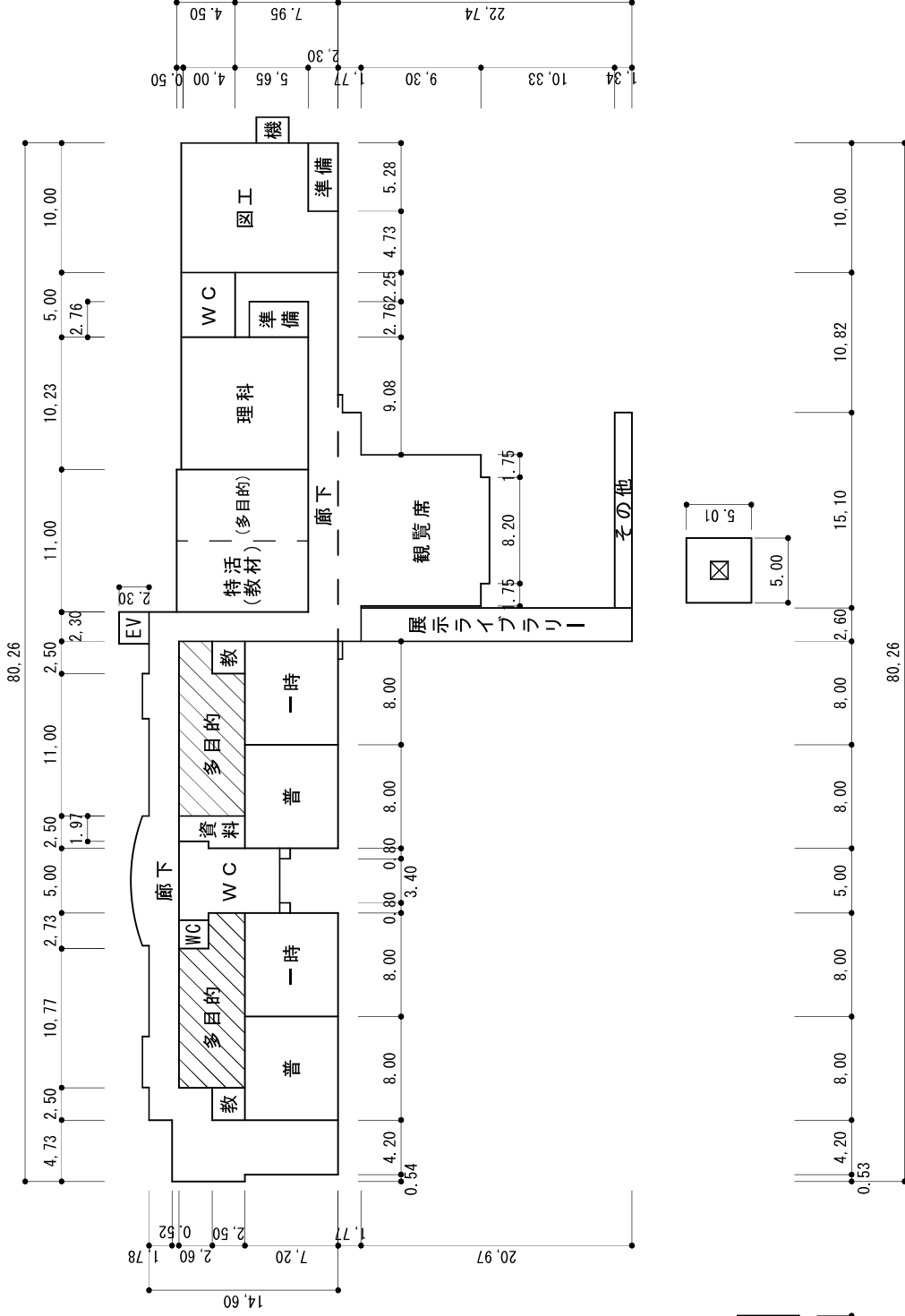
201

(学校)

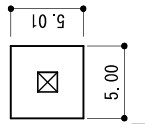
0289

整理番号

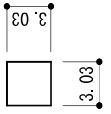
①-1



塔屋



2 階



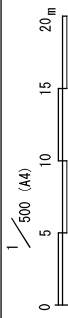
塔屋

(平成 27 年度)

No. 3

平面図

縮尺



学校名

鹿野小学校

期定番号

31

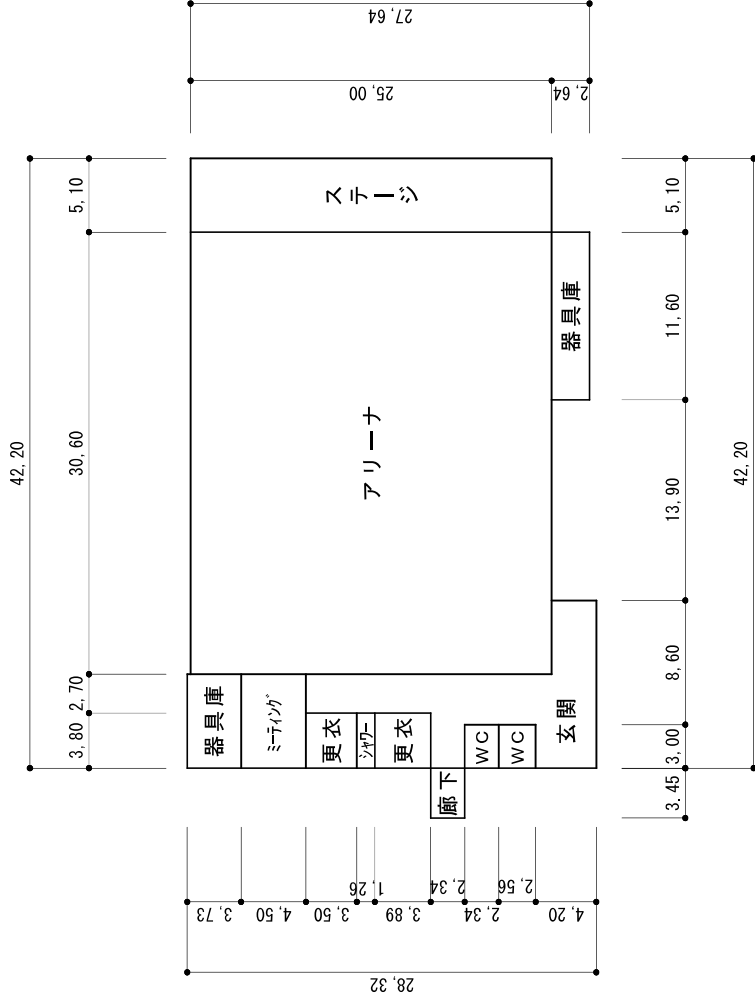
(市町村)

(学校)

整理番号

312010289

2-1

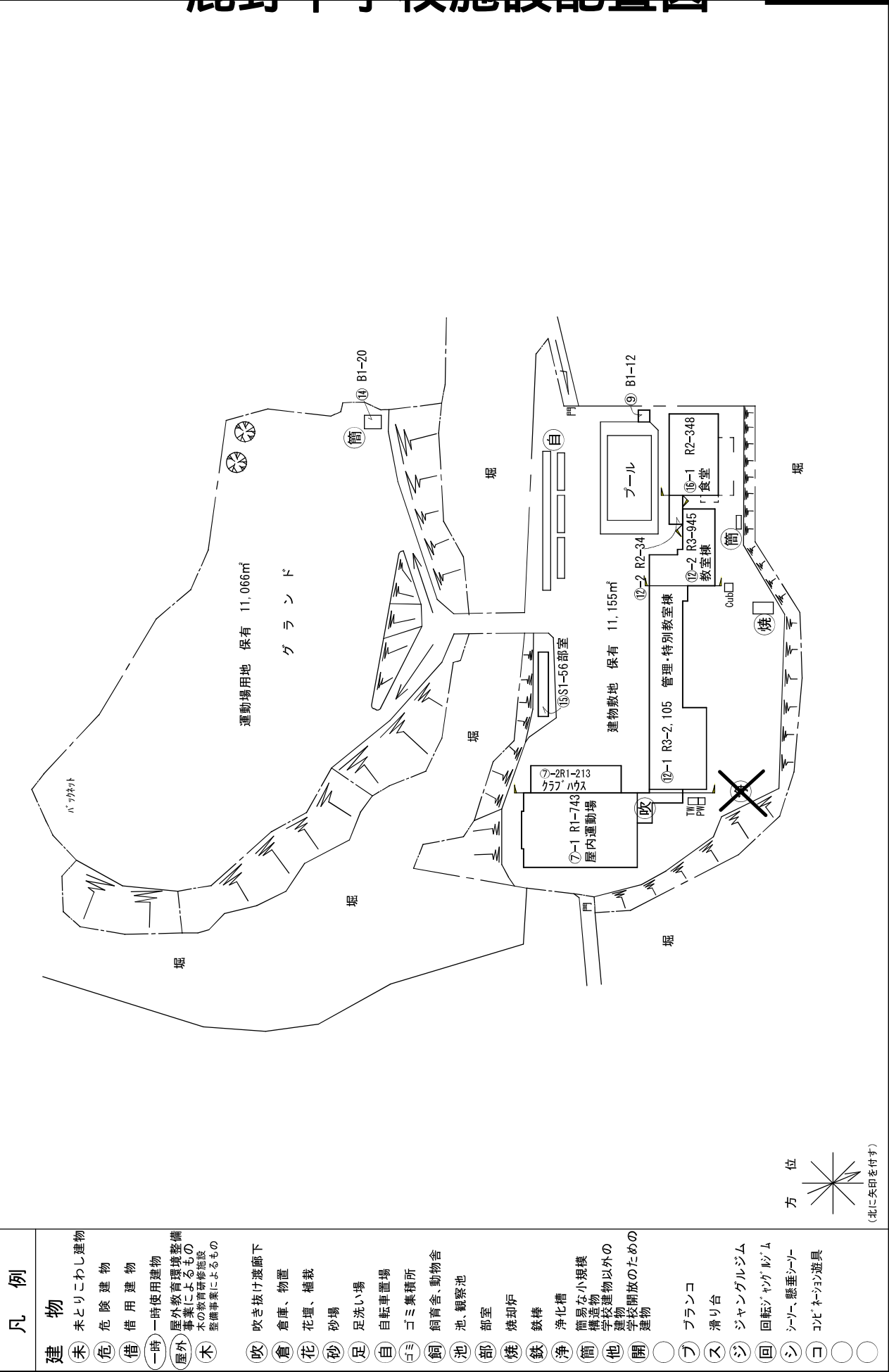


保有控除となりうるもの
プール付属棟 66㎡

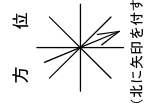
鹿野中学校施設配置図

(平成 27 年度)

施設の配置図	縮尺	1/1500(44)	0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 m	校名	鹿野中学校	調査番号	312013562	整理番号	(学区)
									(市町村)
									(学校)



- 凡例**
- 建物
 - 未とりにこわし建物
 - 危険建物
 - 借用建物
 - 一時使用建物
 - 屋外教育環境整備事業によるもの
 - 木の教育研修施設整備事業によるもの
 - 吹き抜け遮廊下
 - 倉庫、物置
 - 花壇、植栽
 - 砂場
 - 足洗い場
 - 自転車置場
 - ゴミ集積所
 - 飼育舎、動物舎
 - 池、観察池
 - 部室
 - 焼却炉
 - 鉄棒
 - 浄化槽
 - 簡易な小規模構造建物以外の建物
 - 学校開放のための建物
 - ブランコ
 - 滑り台
 - ジャングルジム
 - 回転ジャンプ
 - シーソー、懸垂シーソー
 - コビネ遊具



(平成27年度)

No. 1

平面図

縮尺

1/500 (A4)

0 5 10 15 20m

校名

鹿野中学校

調査番号

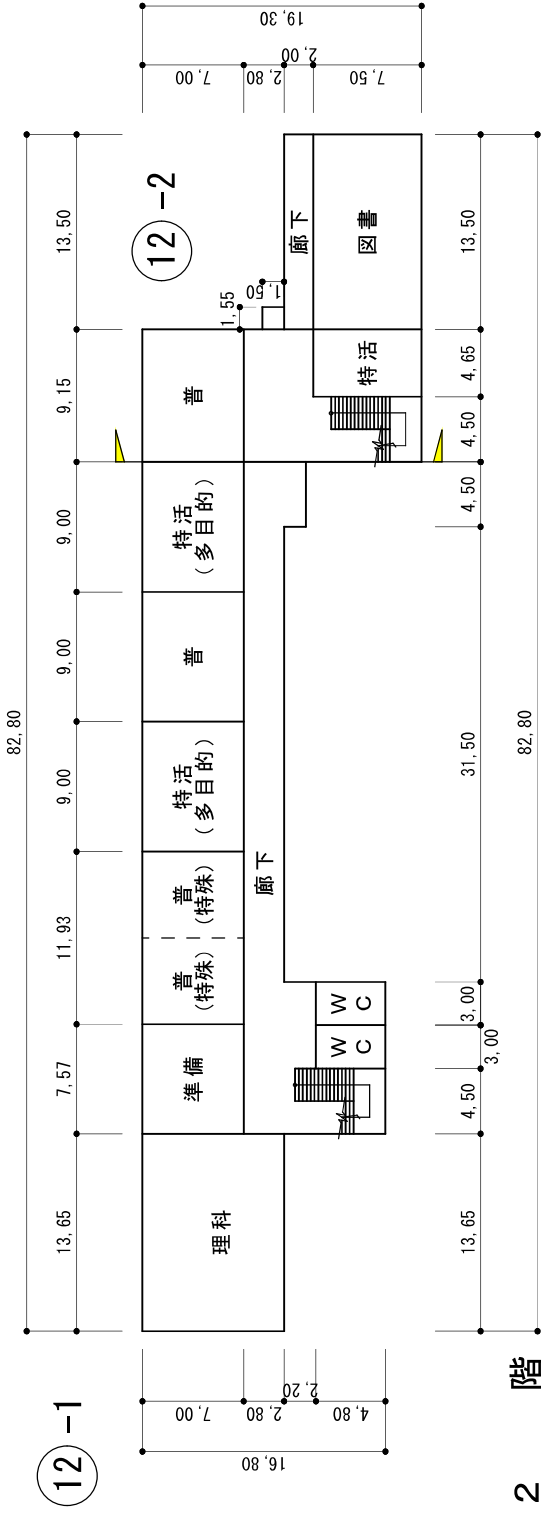
3 1 2 0 1

(市町村)

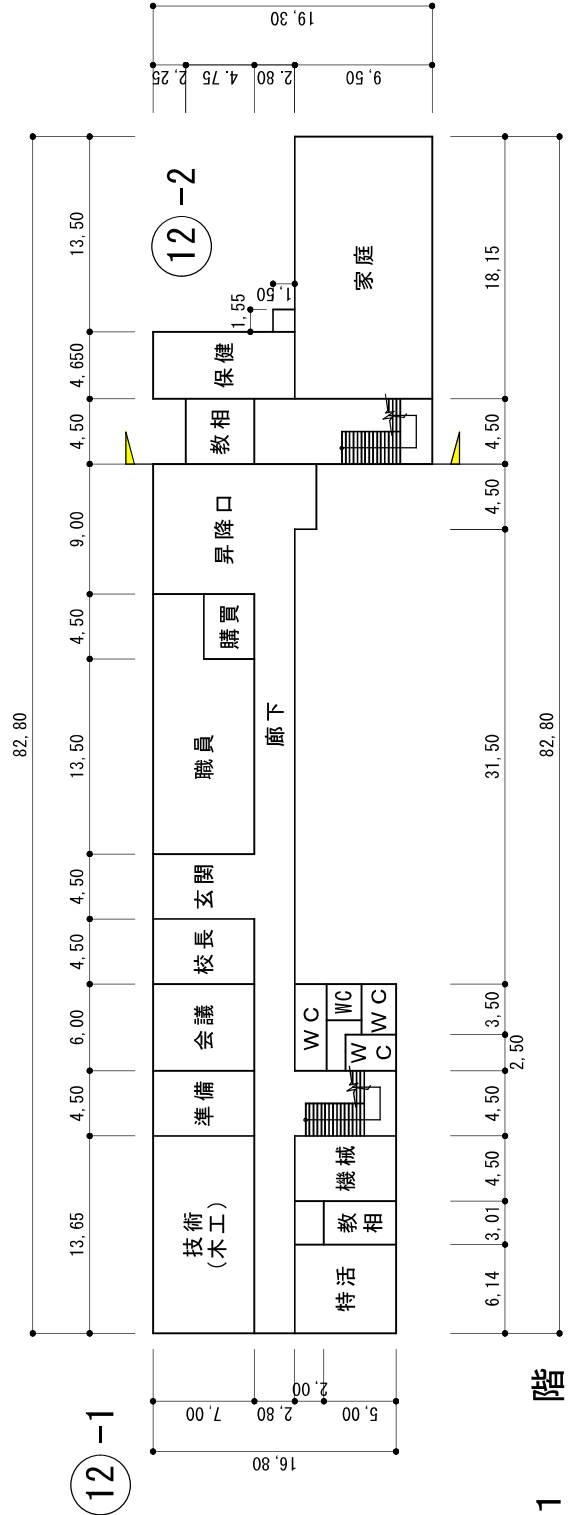
(学校)

整理番号

3 5 6 2



2階



1階

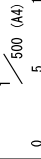
保有控除となりうるもの
プール専用附属棟 12.0㎡
食堂(配膳室含) 348.0㎡

(平成27年度)

No. 2

平面図

縮尺



学校名

鹿野中学校

調査番号

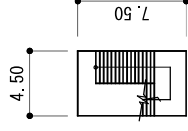
31

(市町村)

(学校)

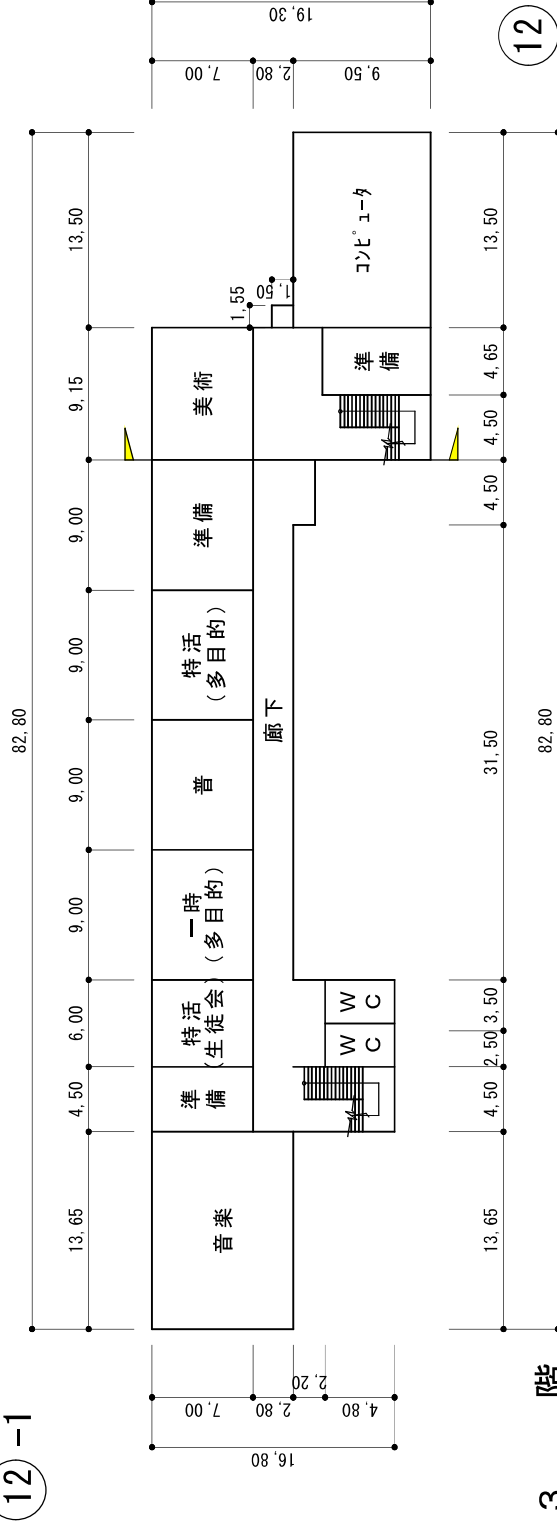
整理番号

2



塔屋

12-1



3階

12-2

資料 6

鹿野小学校の児童数(予測 H27～H33)

【年度・学年別児童数】

年度	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		全 校		全校生徒数 増減率 (対比H27)
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	
27	21	1	20	1	36	2	24	1	28	1	37	2	166	8	
28	34	2	21	1	20	1	36	2	24	1	28	1	163	8	
29	20	1	34	2	21	1	20	1	36	2	24	1	155	8	
30	23	1	20	1	34	1	21	1	20	1	36	2	154	7	
31	31	2	23	1	20	1	34	1	21	1	20	1	149	7	
32	13	1	31	2	23	1	20	1	34	1	21	1	142	7	
33	16	1	13	1	31	1	23	1	20	1	34	1	137	6	-17.47

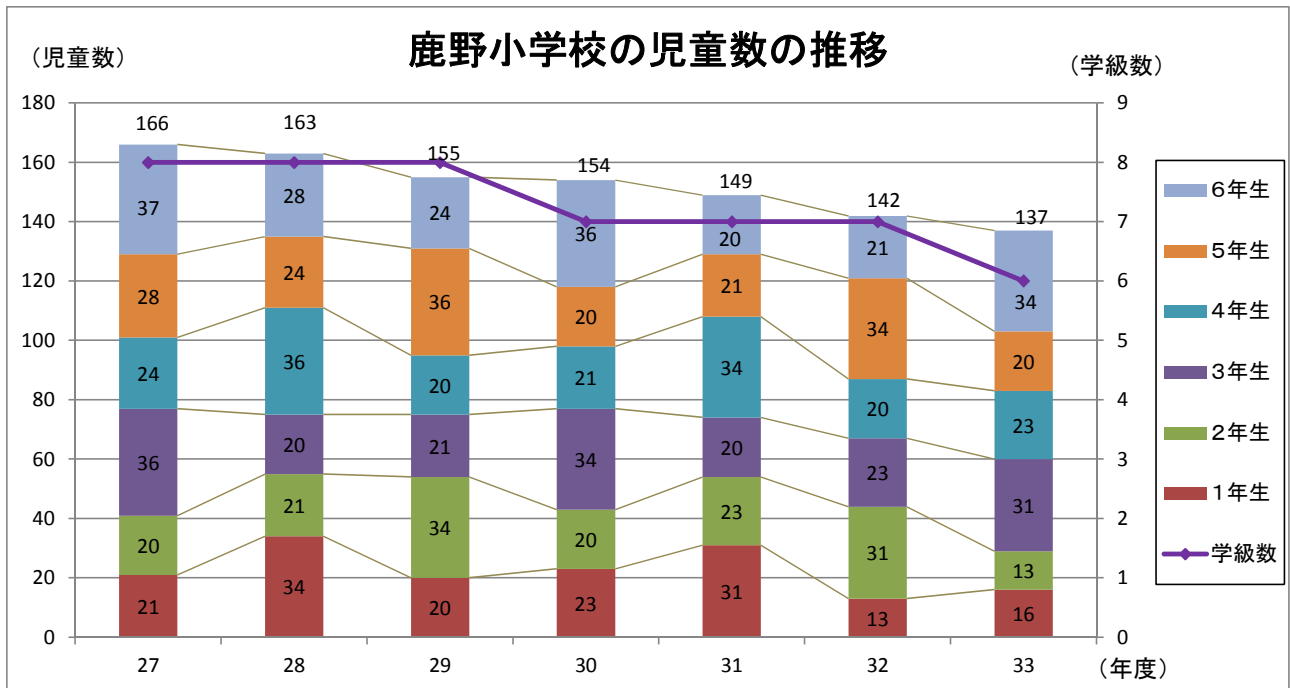
※H27.5.1現在の児童数

※H28年度以降の1年生は、H27.5.1現在の該当地域出生児数

※H27年度以降の2～6年生は、前年度の各1学年下の児童数

※学級数は、鳥取県公立小・中・特別支援学校少人数学級編成基準により算出

(1・2年生:30人学級 3年生以上:35人学級)



鹿野中学校の生徒数(予測 H27～H39)

【年度別生徒数】

年度	1年生		2年生		3年生		全 校		全校生徒数 増 減 率 (対比H27)
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
27	23	1	26	1	25	1	74	3	
28	37	2	23	1	26	1	86	4	
29	28	1	37	2	23	1	88	4	
30	24	1	28	1	37	2	89	4	
31	36	2	24	1	28	1	88	4	
32	20	1	36	2	24	1	80	4	
33	21	1	20	1	36	2	77	4	
34	34	2	21	1	20	1	75	4	
35	20	1	34	1	21	1	75	3	
36	23	1	20	1	34	1	77	3	
37	31	1	23	1	20	1	74	3	
38	13	1	31	1	23	1	67	3	
39	16	1	13	1	31	1	60	3	-18.92

※H27.5.1現在の生徒数

※H28年度以降6年間の1年生は、H27.5.1現在の該当小学校区各学年児童数

※H34年度以降の1年生は、H27.5.1現在の該当地域出生児数

※H28年度以降の2、3年生は、前年度の各1学年下の生徒数

※学級数は、現在の鳥取県公立小・中・特別支援学校少人数学級編成基準により算出
(1年:33人学級、2・3年:35人学級)

